

より良く生きるために

副校長 田中 大輔

今月8日(月)に新型コロナウイルス感染症の感染症法の位置付けが2類から5類に変更しました。先日のマチコミメールでお伝えしたとおり、それを受けて学校ではいくつかの対応の見直しがありました。児童・生徒に直接関わることで、給食中の会話、授業での歌唱の制限等が解除になりました。明るい話し声、元気な歌声が校内に戻り、学校は以前に増して活気があふれています。

引き続き基本的な感染対策を行い、安心・安全な学校作りに努めてまいります。

さて、4月下旬に、全教員が高等部の生徒が生活する千葉福祉園の寮の見学を行いました。

自分の部屋をすすんで見せてくれたり、訪問を恥ずかしがったり、いつもと変わらぬペースで過ごしたりと生徒たちの反応は様々でした。今回の見学で生徒たちの普段の生活について理解を深めることができました。生徒たちの学習や生活上の課題とその対応について、学校、施設間での共有の強化の一助となりました。袖ヶ浦のびろ学園についても、今後見学をさせていただければと考えています。

かねてからお伝えしていますが、本校は令和4、5年度の東京都の人権尊重教育推進校の研究指定を受けております。研究2年目となる今年度は、外部参観者を招いた研究発表を1月に実施する予定です。全校で人権教育への意識をより高めるために、今年度から毎朝の打ち合わせ時に「今日の人権ポイント」として、日直の教員がその日の授業等で自身が取り組む人権教育を発表しています。「社会性の学習の授業で友達と関わる力を育成します。」「美術の授業で生徒が興味・関心をもてる教材を提示して、豊かな情操を養います。」「国語の授業の感想発表で伝え合う力を育成します。」等々、児童・生徒が豊かにより良く生きることに繋がるポイントを各教員が日々発信しています。人権教育とは外国人、女性、性的マイノリティ等に関する差別などについての学習ではありません。豊かな情操を育むこと、日常生活の中で課題を解決する力を育てること、協力や公正の態度を身に付けること等も人権感覚を高める大切な教育であり、全校で取り組んでいます。

今年も「しいの木茶」を作りました。



5月の連休の合い間に、皆で茶摘みを行いました。きれいな葉を選んでお茶に加工した後は、高等部の生徒が計量とパック詰めを行い、約40個のお茶パックが完成しました。去年よりおいしいお茶ができました。保護者の皆様にも1個ずつお届けしますので、ぜひ召し上がってみてください。(文責：伊丹 聡)

6月の予定

1	木	
2	金	中学部校外学習予備日
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	発達相談
8	木	
9	金	学校運営連絡協議会
10	土	
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	避難訓練
15	木	セーフティ教室
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	しいの木集会 安全指導日
21	水	
22	木	中学部校内宿泊1日目
23	金	中学部校内宿泊2日目 短縮授業日（13時50分下校）
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	榎の実特別支援学校との交流 （小・中学部）
29	木	
30	金	保護者通信発信日

小学部

4月28日(金)の授業参観では、新しい環境の中で、頑張って学習する子供たちの姿をご覧いただけたかと思います。「大型ボウリング」「トランポリン」「プレゼント制作」など、回数を重ねることで、期待感をもって意欲的に活動に取り組めるようになりました。保護者の皆様からは、学級懇談会や授業アンケート等で、多数のご意見やご感想をいただきありがとうございました。いただいたご意見等は、今後の指導や授業改善につなげていき、子供たちが充実した学校生活が送れるように取り組んでまいります。

(文責：山田麻衣)

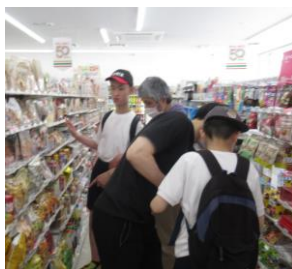


中学部

4月28日(金)の授業参観では、生徒が頑張って学習に取り組んでいる姿をご参観いただきありがとうございました。1組は、安定した学校生活と教員との信頼関係の構築を目指して、学習や活動に取り組んでいます。2組は、5月26日の校外学習に向けて、歩行や集団で行動することを繰り返し練習しています。学部全体では、コミュニケーション手段の獲得とより良い表出方法を身に付けられるように、繰り返し指導しています。

保護者の方から返信していただいた「聞き取り表」をもとに、生徒一人ひとりが潤いのある楽しい学校生活になるように努めてまいります。

(文責：江口 太郎)



高等部

4月28日(金)の授業参観では、校内での生徒の様子をご参観いただきありがとうございました。それぞれが進級し、気持ちも新たに頑張っている様子を見ていただけたかと思います。2年生も3年生も学校での活動に見通しをもって臨んでおりますので、経験が積み上がるよう、課題設定や環境調整を工夫していきます。

今年は植物の生育が早く、ゴールデンウィークの連休前に「茶摘み」を行いました。茶葉の収穫やお茶パックへの加工が、当初の予定と時期がずれて早まっても、生徒たちは臨機応変に活動に参加できました。昨年度の経験があり、何をするか分かっているという強みが上手く発揮されたからでした。また、自分たちが加工した「しいの木茶」をおいしく味わっていただきたいという思いもありました。「誰かの役に立つ」という活動も大切にして授業を行ってまいります。(文責：古山 武)



(お茶パックへの加工)

